

芦別高ラグビー部

北大会同点優勝を報告

市長「最高のプレゼント」



【芦別】9月に芦別一と札幌で開かれた「第

77回全道ラグビー北選
手権大会兼第104回
全国高校ラグビー大会
北海道予選会」で、羽
幌と富良野との合同チ
ームで出場し、優勝に
輝いた芦別高ラグビー
部の部員10人が15日、
荻原貢市長に優勝を報
告した。同校の優勝は、
単独校で出場した19
89年以来、35年ぶり
の快挙で、荻原市長は
「最高のプレゼント」
と選手を称えた。

合同チームは、初戦
の旭川龍谷戦に勝利す
ると、準決勝で中標津
との接戦を制し、昨年

優勝の遠軽との決勝に
臨んだ。決勝は17-17
の同点で両チーム優勝
となり、抽選の結果、
全国大会（花園）の出
場は遠軽に決まった。
全国行きは逃したが、
最後まであきらめない
プレースタイルは、多
くの市民に夢と感動を
与えた。

報告では、「このメ
ンバーで花園に行きた
かった」「3年生と毎
日練習できなくなるの
が寂しい」などと、部
員らが感想を話した。
荻原市長は「夢は続く。
これからも芦高ラグビ

」の活躍を期待した
い」と激励した。
現在ラグビー部は、
3年生8人が引退し、
1年生と2年生の2人
で活動する。30日から
行われる新人戦は、旭
川龍谷、旭川工業、富
良野、羽幌の合同チ
ームで出場する。小野晴
也前主将（3年）は、
「部員を入れ、ラグビ
ー部を盛り上げてほし
い」と、次の花園行き
の切符を後輩に託し
た。 【三浦美香】